活動支援（ホップ）部門採択事業報告

事　業　名	回想法夏まつり
実施団体名	回想法スクール卒業生の会「いきいき隊」
事業の目的	①来ていただいた近隣の小学生、若い親世代に手づくりの道具で遊ぶ楽しさや、昔の暮らしを知ってもらい先人の知恵や工夫の伝承、併せて世代間交流を図る。②いきいき隊員（70～80 歳代、350 人余）が自分の知識を生かし、いきいきと活動できる場を提供する。
補助金額	50,000 円
事業の概略	7/28 陽だまりハウス、8/13 回想法センター　近隣の小学生と親 いきいき隊員手作りの竹製水鉄砲遊び　布製の的を狙う 牛乳パックを色々な形に切りコマを作る　色を塗りどうみえるかな 毛糸を丸めてポンポンを作る　目をつけたりして動物に見えるかな　押し花の栞づくり　押し花をラミネート加工しリボンをつける 8/28 回想法センター　近隣の住民 打ち水作戦　昔の暮らし道具のクイズ　蚊帳をつって怖い話の読み聞かせ
事業の成果	①手作りの道具で遊ぶ楽しさを知ってもらえた。また昔の暮らし道具のクイズラリーでいきいき隊員が使用方法を説明し世代間交流が出来た。 ②いきいき隊の法被、T シャツを着て、いきいきと活躍している隊員（概ね 70～80 歳代）を見て頂く事が「いきいき隊」の PR になり「地域回想法」の普及に役立った。
実施での問題点	陽だまりハウスの「サンサンまつり」は、学校の行事と重なり参加者がやや少なかった。回想法センターでの「夏の宵まつり」は午後５時～午後７時までとなっており、女性隊員から「帰りが暗いので困る」という意見があった。
課題・今後の展望	近辺の学校の行事を事前に把握しておく必要がある。 夏の宵まつりの開始時間を 30 分から 1 時間繰り上げを検討する。
審査員評価	いきいき隊の活躍、回想法の道具の活用＆地域交流、複数の他団体との協働作業が良いと思います。
アドバイス・期待する点	地域回想法のＰＲは若い親世代に行うのではなく、高齢者福祉に関心を持つ層に向けて行ってはどうでしょうか。 夏まつりの開催場所を陽だまりハウスと回想法センター以外に広げていくと、北名古屋市中にいきいき隊が知れ渡るのではないでしょうか。 自己資金の確保について販売という形ではなく、寄付をしていただき、お礼をプレゼントするという形の方がいいのではないか